

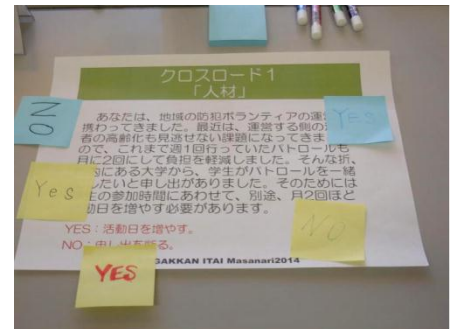
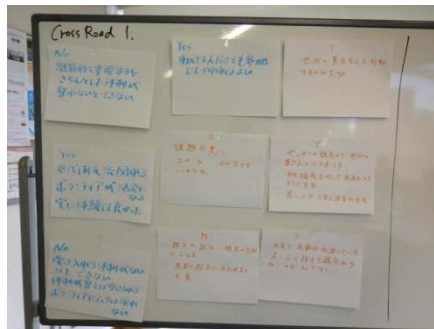
平成27年度 防犯ボランティア活性化ワークショップ

- 平成28年1月15日(金)、防犯ボランティアの活動上の課題である「人材」「資金」「情報」について、解決に向けた意見交換のため、県内で活動する団体の代表者を集めてのワークショップを開催しました。
- ワークショップの手法は“クロスロード”という「二者択一の設問にイエス、ノーの判断について意見を交換し合う」もので、意見の多様性を共有する集団ゲームです。
- 愛知県警では初めての試みで、参加者からは「同意見でも、反対意見でも考え方の違いがあり、とても有意義だった。」との感想が語られた。



【参加団体】

豊岡学区連絡協議会（瑞穂区）
 長根連区自治協議会（瀬戸市）
 苗代学区防犯パトロール隊（守山区）
 東部青パト隊（新城市）
 MSP隊（三井住友海上火災保険㈱）
 APP（名城大、中京大）
 TOPS（東海学園大）



【設問の例～人材】

あなたは、地域の防犯ボランティアの運営に携わってきました。最近、運営する側の活動者の高齢化も見逃せない課題になってきましたので、これまで週1回行っていたパトロールも月2回にして負担を軽減しました。そんな折、市内にある大学から、学生がパトロールを一緒にしたいとの申し出がありました。そのためには学生の参加時間にあわせて、別途、月2回ほど活動日を増やす必要があります。

(Yes: 活動日を増やす。 No: 申し出を断る。)